

運転保守状況(備考欄)

1号機

12月5日(水)

23時27分に発電停止(原子炉停止:12月6日(木)3時27分)し、第27回定期検査を開始。

12月18日(火)

17時10分頃、1号機原子炉建物2階(管理区域内)原子炉浄化系熱交換器室入口通路付近で、原子炉浄化系配管修理作業において切断位置確認のために使用する薬品(硝酸、エタノール混合液)の入ったペットボトルが破裂し、当該薬品が飛散した。本事象により、作業員5名(中国電力社員1名、協力会社作業員4名)が飛沫を浴びる等により被災した。

被災した作業員5名は直ちに救急車で松江赤十字病院へ搬送し、診察・処置を受けた結果、4名については、異常はなく、1名は入院して加療を行う必要があるとの診断を受けた。

なお、この事象による作業員の被ばく及び外部への放射能の影響はなかった。

a.ペットボトル破損の直接的な原因

標準的な濃度の硝酸ではなく、高濃度の硝酸とエタノールを混合したため、化学反応により窒素酸化物が発生し、ペットボトルの内圧が上昇したため、破損に至ったことを再現試験により確認。

b.適切な作業が行われなかった原因

(a)薬品の取扱いについての手順が定められていなかった。

(b)作業要領書に薬品を使用することの記載がなかった。

(c)薬品を使用するにあたり、作業要領書、安全対策計画書の変更手続きが行われなかった。

c.対策

協力会社の報告を受け、中国電力が発注者として協力会社に対し、以下を行うことにより、作業管理および安全管理を充実させる。

(a)作業要領書へ薬品の取扱いについて記載する。

(b)作業内容の追加・変更時の手順を明確化する。

作業要領書の変更

安全対策計画書の変更

【中国電力(株)公表済み】

1月8日(火)

取出した使用済みの制御棒12本のうち3本(ボロン・カーバイド型制御棒1本およびハフニウム棒型制御棒2本)について外観点検を行ったところ、ハフニウム棒型制御棒1本のハンドルガイドローラ取付部近傍に微小なひびがあることを確認。他の2本の制御棒に異常はなかった。当該部のひびは、これまで他プラントでも確認されており、制御棒の健全性に影響を与えるものではないが、念のため解析評価により確認。

【中国電力(株)公表済み】

1月14日(月)

1月13日(日)午前9時頃から復水貯蔵タンクに水張りを開始していたところ、1月14日(月)午前5時頃、原子炉建物1階管理区域内のB、C復水輸送ポンプ周辺の床面に水溜りを発見した。

水溜りは、B、C復水輸送ポンプ入口圧力計取付部からの漏えい水であり、直ちに当該入口圧力計の元弁を閉止し、漏えいは停止した。

当該圧力計取付部を確認した結果、計器取付部の銅パッキン(計器接合部などからの液体の漏れを防ぐもの)が割れたことにより漏えいしたものと判明したため、当該パッキンを新品に取替えた。

なお、漏えい量は約7リットル、漏えい水の総放射能量は、 2.4×10^3 ベクレルであり法律に基づく報告基準値： 3.7×10^6 ベクレルに比ベ十分に低い値だった。

【中国電力(株)公表済み】